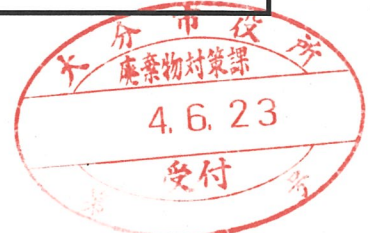


産業廃棄物処理計画書	
令和4年6月22日	
大分市長 佐藤 樹一郎 殿	
提出者 昭和電工株式会社 大分コンビナート 住 所 大分県 大分市 中ノ洲2番地 氏 名 大分コンビナート代表 長井 太一 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 097-521-5131	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	昭和電工株式会社 大分コンビナート
事業場の所在地	大分県 大分市 中ノ洲2番地 電話番号 097-521-5131
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	化学工業 日本標準産業分類番号2000
②事業の規模	主なプラント(設備能力) ナフサクラッカー(695kt/y)、酢酸ビニル(175kt/y) アリアルアルコール(64kt/y)、EVA(23kt/y)、NPAC(13kt/y)
③従業員数	524人(令和4年4月現在)
④産業廃棄物の一連の処理工程	別紙1の通り



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項					
別紙2のとおり					
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状	【前年度（令和3年度）実績】詳細表のとおり				
	産業廃棄物の種類				
	排出量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 埋立産廃の中間処理化(例:アスベスト溶融処理化し、路盤材として再生) 卑金属含有物を原料化し、産廃処理量を削減 保温材の有効利用を実施し、直接埋め立て量を削減				
②計画	【目標】詳細表のとおり				
	産業廃棄物の種類				
	排出量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 不燃物の分別を徹底し、直接埋め立て量を削減する。 廃棄物の有効利用率の向上				
産業廃棄物の分別に関する事項					
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 殆どの産業廃棄物については、分別を行っている。				
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物の有効利用をすすめ、産業廃棄物処理量の削減を行う。				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
①現状	【前年度（令和3年度）実績】詳細表のとおり				
	産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】詳細表のとおり				
	産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
①現状	【前年度（令和3年度）実績】詳細表のとおり				
	産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】詳細表のとおり				
	産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】詳細表のとおり					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】詳細表のとおり					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】詳細表のとおり					
	産業廃棄物の種類					
	全処理委託量	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)						

②計画	【目標】 詳細表のとおり				
	産業廃棄物の種類				
	全処理委託量	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					
※事務処理欄					

(第6面)

備考

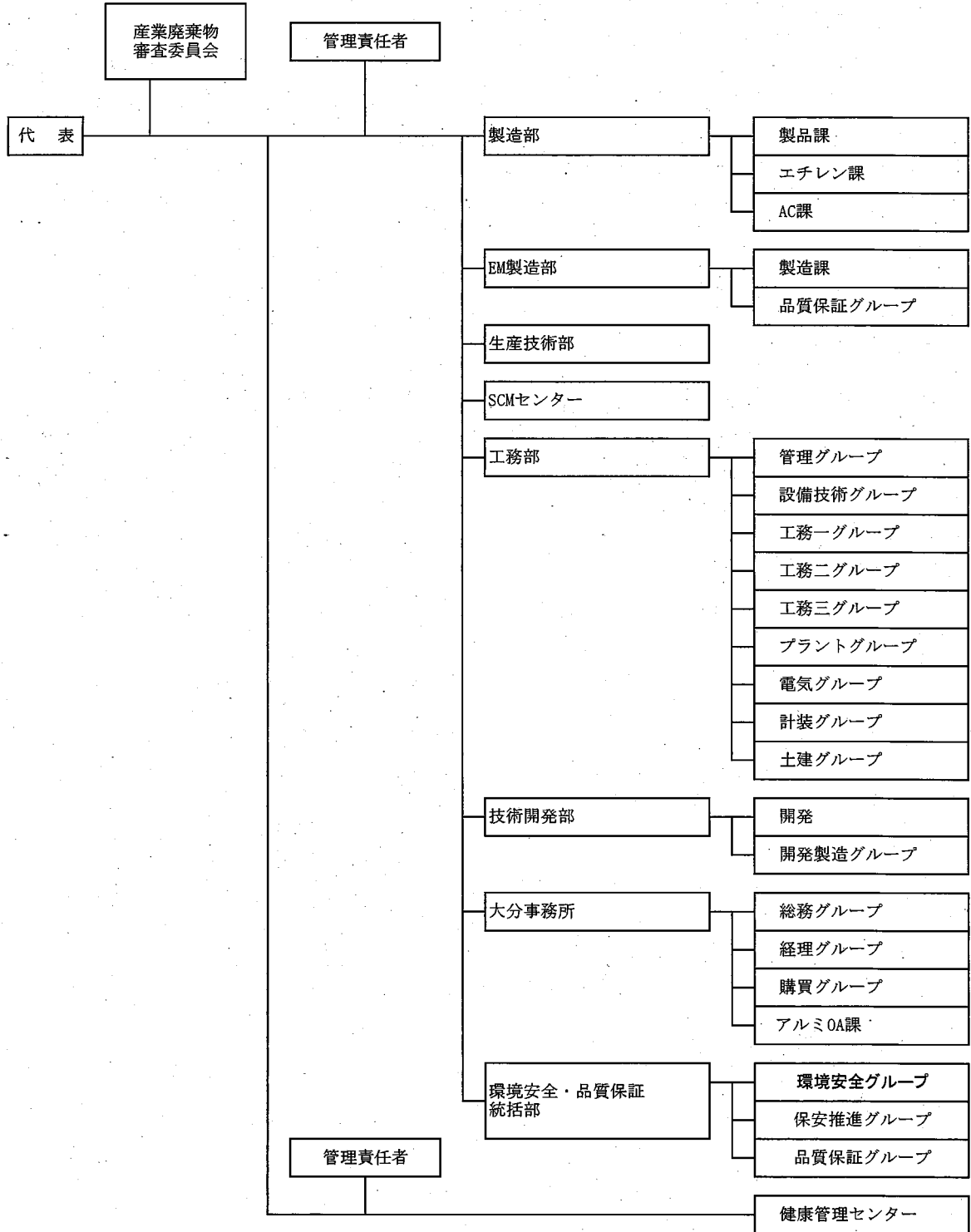
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物の一連の処理の工程

産廃種	中間処理	最終処分	
ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	—	安定型埋立	埋立
	固化 破碎・選別	セメント原料 他原料化	マテリアル マテリアル
がれき類	破碎	他原料化	マテリアル
ゴム屑	焼却	—	サーマル
汚泥	コンクリート固化	安定型埋立	埋立
	セメント固化	安定型埋立	埋立
	固化	セメント原料	マテリアル
	混練	鉄炉調整材	マテリアル
	焼却	—	マテリアル
	焼却	—	サーマル
	成型固化 混合燃料化 破碎	炉調整材 燃料化 道路材等	マテリアル マテリアル マテリアル
金属くず	破碎, コンクリート固化	安定型埋立	埋立
水銀使用製品廃棄物	破碎・選別	(蛍光灯破碎物埋立)	埋立
廃アルカリ	中和	セメント原料	マテリアル
	中和	安定型埋立	埋立
廃プラスチック類	焼却	管理型埋立	埋立
	焼却	炉調整材	マテリアル
	焼却	セメント原料	マテリアル
	焼却	—	サーマル
	焼成	セメント原料	マテリアル
	燃料化	燃料化	マテリアル
	破碎	セメント原料	マテリアル
	破碎	—	サーマル
	破碎	焼却	サーマル
	破碎	安定型埋立	埋立
廃酸	中和	安定型埋立	埋立
	セメント固化	セメント原料	マテリアル
廃油	混合燃料化	燃料化	マテリアル
	焼却	—	サーマル
	焼却	セメント原料	マテリアル
	燃料化	燃料化	マテリアル
	油水分離	燃料化	マテリアル
	焼却	炉調整材	マテリアル
木くず	破碎	他原料化	マテリアル

昭和電工(株)大分コンビナート(産業廃棄物管理組織)

[排出事業所としての管理組織]





詳細表

上段:実績値(令和3年) 下段:目標値(令和4年)	排出量	自ら再生利用を行う量	自ら熱回収を行う量	自ら中間処理により	自ら埋立処分又は	全処理委託量	優良認定処理業者	再生利用業者への	認定熱回収	認定熱回収
汚泥	399	0	0	0	0	399	399	395	0	0
	300	0	0	0	0	300	300	300	0	4
廃油	662	0	0	0	0	662	651	658	0	0
	100	0	0	0	0	100	50	100	0	7
廃アルカリ	90	0	0	0	0	90	90	90	0	0
	80	0	0	0	0	80	80	80	0	0
廃プラスチック類	141	0	0	0	0	141	118	121	0	0
	100	0	0	0	0	100	80	100	0	0
木くず	13	0	0	0	0	13	13	13	0	0
	10	0	0	0	0	10	10	10	0	0
金属くず	3	0	0	0	0	3	1	3	0	0
	3	0	0	0	0	3	1	3	0	0
ガラスくず及び陶磁器くず	110	0	0	0	0	110	13	106	0	0
	30	0	0	0	0	30	10	20	0	0
がれき類	2	0	0	0	0	2	2	2	0	0
	2	0	0	0	0	2	2	2	0	0